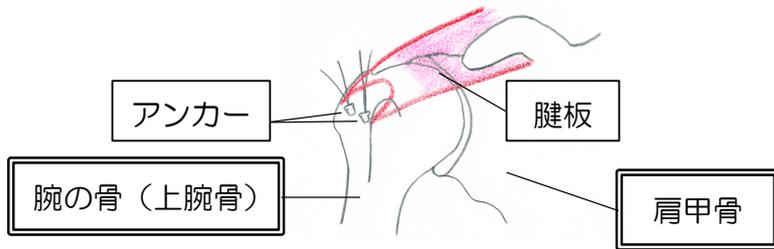


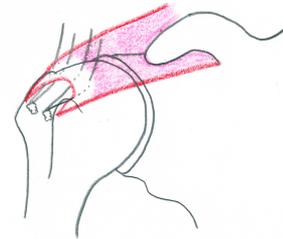
腱板修復術について

● 今回行う手術

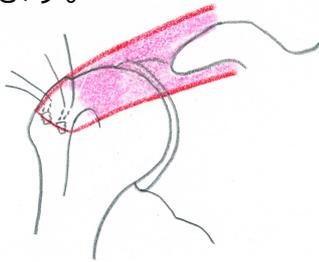
① 断裂した腱板が本来あった位置にアンカーと呼ばれるビスを打ちます。



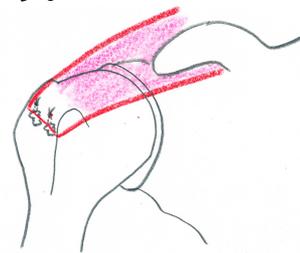
② アンカーに付属している糸を断裂した腱板にかけます。



③ 断裂した腱板をアンカーのある位置まで糸でひっぱります。



④ 本来の位置に戻したら糸を結び、固定します。



断裂が大きいほど、糸で腱板をひっぱる距離が長くなります。そのため、腱板にかかる負荷も大きくなり、再断裂のリスクは高くなります。

● 術後の経過

※この予定は目安です。状態によって変更されることがあります。

術後～4(6)週：装具で固定します。手術した腕は使えません。

術後4(6)週～：装具をはずします。
腕を動かせる範囲で動かし始めます。
車の運転は手術した手を補助程度として可能です。

術後6(8)週～：段階的に車の運転が可能となります。

～術後3ヶ月：日常生活に不自由なくなっていることが目標です。
(物をもつ場合は1kg以内)

術後3ヶ月～：段階的に5kgの物まで持てるようになります。

術後6ヶ月～：段階的に重労働・スポーツ活動を開始します。